「第２期上下水道事業経営計画」（令和４年度～13年度）の見直し・「中期財政計画」（令和７年度～９年度）の策定を行いました

「経　営　計　画」… 本市上下水道の基本計画である**「鹿児島市上下水道ビジョン」**に掲げる具体的な施策を実施するため、財政見通しや優先度・重要度を考慮した10年間を期間とする計画。今回の見直しは、毎年度実施している計画の進捗状況の確認・検証等に基づき、3年毎に行う見直しで、令和4～6年度の取組状況や資材単価及び労務単価の上昇などを踏まえた計画です。

「中期財政計画」… 今後3年間（令和7～9年度）の事業内容と、収入・支出の予定額をまとめたもの。

○主な事業内容

【1　安全で快適なくらしと良好な水環境】

◇河頭浄水場（甲系統の浄水施設）更新事業

河頭浄水場の甲系統の浄水施設は、施設の老朽化が進み耐震性も劣っていることから更新を行います。

◇水道管路更新事業

水道管路更新計画（令和4～13年度）に基づき老朽化した配水管の布設替を行い、併せて耐震化を行います。

◇地下漏水調査・公道地下漏水修繕事業

有効率の向上、漏水の早期発見、漏水による二次災害防止のため、漏水の調査を行うとともに、新技術を活用した調査方法の試験的導入を検討します。

◇下水道施設の改築（ストックマネジメント等）

処理施設・汚水管路施設・雨水施設の持続的な機能確保、ライフサイクルコストの最小化や事業費の平準化を図るストックマネジメント計画に基づき改築を行います。

このほか、【2 災害に備える】【3 脱炭素・循環型社会への貢献】【4 健全な事業運営】【5 信頼性の向上】などの施策に取り組みます。

○経営計画期間中の財政計画　※現行の料金等水準で試算

□は、中期財政計画期間

【水道事業】（単位：億円）

項　目	R5 決算	R6 見込	R7 当初予算	R8 計画	R9 計画	R10 計画	R11 計画	R12 計画	R13 計画
純利益(△純損失)	14.1	5.7	4.8	4.2	4.6	3.0	△1.1	△ 1.1	△ 4.5
年度末資金残高	104.2	97.1	83.8	68.9	49.5	29.1	6.0	△ 26.8	△63.9

【工業用水道事業】（単位：百万円）

項　目	R5 決算	R6 見込	R7 当初予算	R8 計画	R9 計画	R10 計画	R11 計画	R12 計画	R13 計画
純利益(△純損失)	3.4	0.9	1.4	0.5	0.0	0.1	0.2	△ 1.1	△0.9
年度末資金残高	143.7	145.8	139.4	142.1	144.4	143.6	128.1	126.9	100.4

【公共下水道事業】（単位：億円）

項　目	R5 決算	R6 見込	R7 当初予算	R8 計画	R9 計画	R10 計画	R11 計画	R12 計画	R13 計画
純利益(△純損失)	2.7	△ 3.2	△ 4.9	△ 4.5	△ 6.7	△ 7.8	△ 10.2	△ 9.3	△10.8
年度末資金残高	66.0	60.3	55.1	47.5	38.6	27.8	17.1	6.2	△5.7

◎収支ギャップ解消のための取組

本経営計画では、国から求められている「収支均衡」を図る必要があることから、収支ギャップを解消するために、決算状況や健全化の取組を踏まえ、収入・支出の見直しを行うとともに、料金等改定についても検討します。

◀第2期鹿児島市上下水道事業経営計画（水道局ホームページ）

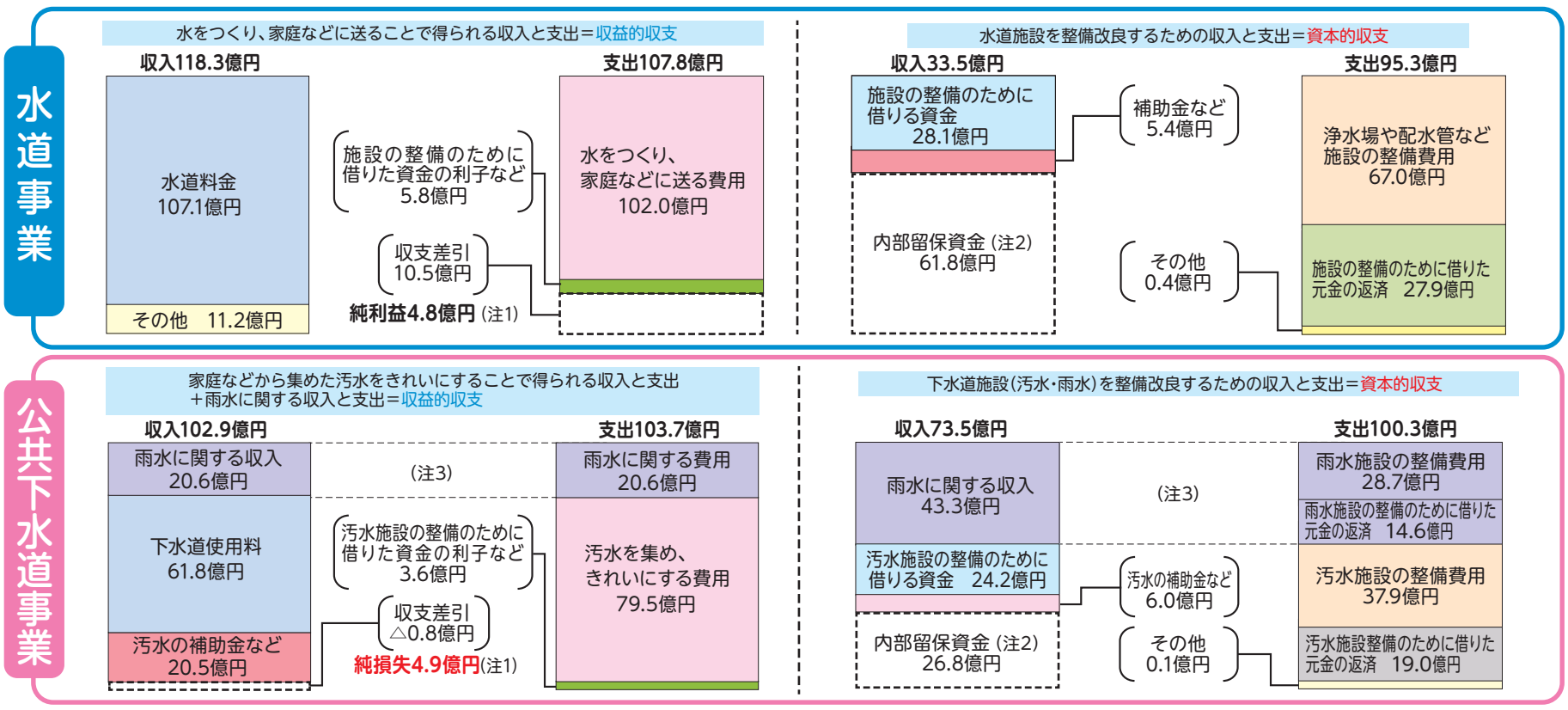
中期財政計画▶（水道局ホームページ）

【経営管理課　TEL：213-8506】

水道事業・公共下水道事業の令和７年度予算の概要

令和７年度予算では、節水機器の普及や人口減少などによる収入の減少に加え、支出についても資材単価や労務単価の上昇による影響などにより、水道事業は4.8億円の純利益（黒字）、公共下水道事業は4.9億円の純損失（赤字）と、前年度より厳しい経営状況となっています。

今後とも、公営企業として独立採算の原則に基づき、お客さまの水道料金・下水道使用料を主な収入として、より一層の経営の効率化に取り組みながら、水道事業においては安全で良質な水の安定供給に、公共下水道事業においては良好な水環境と快適な生活環境の確保に努めていきます。



注１…純利益・純損失は税抜きで、その他は税込みです。
注２…資本的収入が資本的支出に対して不足する額は、減価償却費等の内部留保資金で補てんしています。
注３…雨水に関する支出は、全て雨水に関する収入（公費など）で賄われています。

予算の状況◀（水道局ホームページ）

○水道局では「工業用水道事業」も運営しています。水道・公共下水道・工業用水道事業の予算については、ホームページでも公表しています。

【経営管理課　TEL：213-8506】